「中山間地域の農業を支える仕組みの再構築」について

資料５－⑦

【Ｈ２９年度の取組方針】

- ◆**「生産基盤を支える」**日本型直接支払制度の活用を拡大し、集落営農の組織化・農業ロールモデルにつなげる
- ◆**「農業の競争力を高め・支える」**「集落営農」と「複合経営拠点」を両輪で推進
- ◆**「生活を守る」**ための「集落活動センター」と、「複合経営拠点」「集落営農」との一体・連携を拡大

生活を守る

集落活動センター（農業ロールモデル）

- 特産品づくり
- 生活支援サービス
- 安心・安全サポート
- 農業部門・農地管理
- 健康づくり活動
- 防災活動

集落営農・複合経営拠点と集落活動センターを一体的に推進

農業の競争力を高め・支える

集落営農

Point

◆「集落営農塾」による
「こうち型集落営農」、法人化を加速化

拡充

①「集落営農塾」に２コースを新設

組織化コース ➡ 法人化コース

組織化コース ➡ ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟコース ➡ 法人化コース ➡ 法人経営コース

②「集落営農法人ネットワーク協議会」を設立

○こうち型集落営農の拡大
４７組織 ⇒ ５７組織（＋１０組織）

○法人化の推進
２２組織 ⇒ ２８組織（＋６組織）

両 輪

複合経営拠点

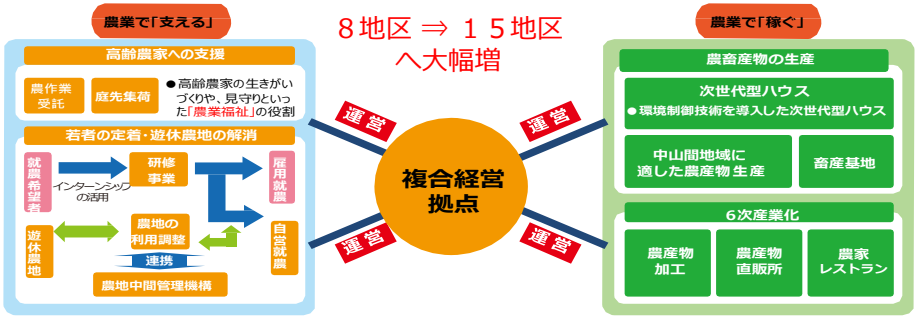
Point

◆実施１１地区、Ｈ２９実施４地区の取組の早期実現に向けて、ソフト・ハードの両面から支援
◆新規掘り起し ⇒ Ｈ２９目標４地区

拡充

①実施地区増に伴うハード事業費の増
②経営コンサルを活用した経営強化支援の充実
③庭先集荷を支援するメニューの新設
④人材育成のための複合経営拠点推進フォーラムの開催

８地区 ⇒ １５地区へ大幅増



生産基盤を支える

中山間地域の生産基盤を下支え

○日本型直接支払制度（中山間地域等直接支払・多面的機能支払の充実）

Point 【中山間】協定の広域化、交付面積拡大、事務委託の推進

Point 【多面】活動組織の拡大、交付面積の拡大